

受 験 番 号					

氏 名	

2016(平成28)年度放送大学  
大学院博士後期課程  
文化科学研究科 文化科学専攻

## 社会経営科学プログラム

### 筆記試験問題（小論文試験）

試験日：2015（平成27）年10月4日（日）

試験時間：13時00分～15時00分

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、HB又はBの黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、問題冊子1冊及び解答用紙3枚です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、問題冊子を確認してください。問題冊子は、表紙、白紙、問題（1頁）、下書き用紙（3枚）の順に綴じられており、合わせて6枚です。冊子を綴じているホッチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。  
問題冊子または解答用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙の所定欄に、所属を希望するプログラム名、氏名、受験番号及び解答用紙の何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。
7. 問題冊子及び解答用紙を持ち帰ってはいけません。
8. 問題冊子は試験終了後に回収します。  
問題冊子に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
9. 試験時間は2時間です。試験開始後40分を経過した後は、問題冊子及び解答用紙を試験監督員に提出した上で、退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

筆記試験問題（小論文試験）

以下の問1か問2のいずれか一つを選び、2000字以内で解答せよ。

問1.

自らの修士論文（もしくはそれに相当する論文）の内容を簡潔にまとめ、そこで論じられたことが、本学で作成予定の博士論文とどのような関係性をもつのかを論ぜよ。その際、博士論文において取り上げられるテーマの妥当性（つまり、それを論じる必要性や、それを研究する方法の可能性等）について、学問的に論証すること。

問2.

博士論文で取り上げるテーマに関して、既存の研究との関係性をふまえながら説明しなさい。そのうえで、そのテーマについて新たな研究をする際に必要な資料や方法について具体的に説明し、期待される成果の学問的ないし実践的意義について論じなさい。